

# LPガス「集中監視システム」を活用した、 バルクローリー車の「最適配送システム」実現に向けた、配送実態調査・分析

1. 実施者  
岡谷酸素株式会社

バルク貯槽	約 1,300 基
ローリー車	9 台稼働中
需要期配送量	1,300 トン / 月

## 2. 調査概要

### (1) 目的

バルクシステムの導入当初より、当社は配送コストをどのように低減してきたか。  
60件のサンプル地点を事例に、集中監視システムと当社バルク監視ソフトの活用で、バルクの配送業務は、どのように効率化されるか。  
バルクローリー車の運行実績を GPS システムによって収集し、配送業務の実態把握（作業進捗・運行ルート・順路指示等）を行い、業務に活用が可能であるか調査・分析を行う。

### (2) 実施方法

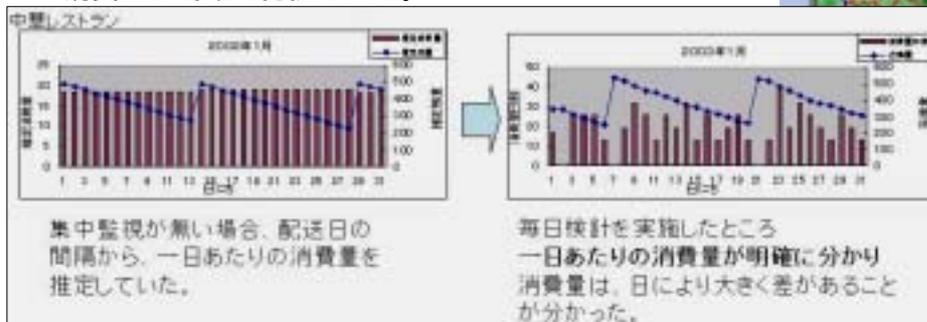
60件の集中監視システムを設置し、設置前と設置後の配送形態の変化を調査。  
バルクローリー車の運行実績を GPS システムによって収集し、配送業務の実態把握（作業進捗・運行ルート・順路指示等）を行い、業務に活用が可能であるか調査・分析を行う。

## 3. 調査結果概要

**GPSシステム  
位置情報システムとしての活用**  
9台のバルク車両の現在位置がリアルタイムに把握できた。



双方向集中監視とバルク管理ソフトで、毎日の消費量を的確に把握できた。



## 4. 調査結果から得られた効果

バルク監視ソフトの運用によりバルクローリー配送コストは、現在、年間平均 8 円台 / kg で推移していることが検証でき、目標とするコストレベルに到達している。  
双方向の集中監視システムとバルク監視システムにより、バルクローリー配送担当者は、ガス切れの不安から解放されるため、配送効率が高まることが実証できた。  
本調査により、バルクローリー車両 位置情報「リアルタイム確認システム」を低コストで構築し、運用可能であることが確認できた。

## 5. 調査結果の今後の活用、調査結果を踏まえた今後の取り組み

前回の調査を通じ、更なる「配送業務効率化」を追求するための課題として、バルクローリー車搭載の車載コンピュータ（充填量記録システム）を有効に活用し、「バルク監視システム」と業務連携をはかるための調査を継続して実施したい。

## 6. 補助金確定額

19,481,139 円

